

## 国土地理院「航空重力測量実施のための航空機運航関連業務」の終了について

本年5月、国土地理院の航空重力測量プロジェクトにおいて、2019年4月から当社が担当していた「航空重力測量実施のための航空機運航関連業務」が終了しました。

4年間で、北は北海道、南は沖縄・石垣まで計測を実施しました。

計測コースの長さは最長約550km（平均260km）にもなり、1コース数十分にも及ぶ水平直線飛行は、今までの航空測量作業において例のない条件であり、弊社でも新たなチャレンジとなりました。

取得した重力データは高精度なジオイド・モデルとしてGNSS（みちびきやGPSなど）衛星測位データと組み合わせ、より正確な標高データを得ることができ、重機等の自動運転システムへの活用、災害時の迅速な復旧・復興作業への利用等が期待されています。

弊社ではこれからも様々なプロジェクトへの参加を通じ、空から暮らしの基盤づくりと社会の安心・安全を支えていきます。

共立航空撮影株式会社

国土地理院ウェブサイト「—4年間にわたる国内初の全国の航空重力測量が終了—」

[https://www.gsi.go.jp/buturisokuchi/buturisokuchi\\_202305.html](https://www.gsi.go.jp/buturisokuchi/buturisokuchi_202305.html)



調布飛行場の「重力点」



最終計測飛行時の離陸



国土地理院 物理測地課長から担当機長への花束贈呈



航空重力計「TAGS-7」